



2008年11月4日  
MR/J45/08



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY

メディア用原稿  
非公式記録

国際連合大学 広報部  
〒150-8925  
東京都渋谷区神宮前 5-53-70

Tel.: +81-3-5467-1212  
Fax: +81-3-3499-2828  
E-mail: media@unu.edu  
Website: <http://www.unu.edu/>

## 国連大学、世界人権宣言60周年を記念して セミナーを開催

内容: 「60年を迎えた世界人権宣言」  
テーマ: 「世界人権宣言の60年と今なお残る課題: ミャンマーのケースより」  
日時: 2008年11月11日(火) 午後3時~5時  
場所: 国連大学本部ビル(渋谷区)  
主催: 国連大学(UNU)

- 1948年12月10日、国連総会は世界人権宣言(UDHR)を採択した。同宣言には、一人一人が平等に持っている権利が「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準として」、明確かつ分かりやすい言葉で述べられている。以後きわめて大きな進歩が見られ、今日では普遍的な人権概念を否定する国はほとんどないものの、人権の促進は依然として困難で議論を呼ぶ問題となっている。一部の国々では、人権侵害があまりにも頻繁に起こっているのが実情である。
- 11月11日(火)、国連大学は世界人権宣言60周年を記念し、「60年を迎えた世界人権宣言」と題したセミナーを東京の国連大学本部で開催する。コンラッド・オスターヴァルダール国連大学学長による開会の挨拶に続き、横田洋三教授とモーティン・ピーダーセン氏による講演が行われる。
- 国連大学学長特別顧問である横田教授は、採択されてから60年になる世界人権宣言の起源、歩み、成果そして問題点について講演。同教授は、人権の保護を促進する上で国際社会が現在直面している問題と、その問題の克服における国連と市民社会の役割について考察する。
- ピーダーセン氏は、日本学術振興会 JSPS ポストドクトラルフェローとして国連大学で行ってきた2年間に及ぶ研究成果を発表。過去20年間国際社会の関心と懸念を集めているミャンマーにおける人権問題の好ましい進展はほとんどない状況を分析しながら、西側諸国の経済制裁とアジア諸国による関与政策が共に失敗したことに焦点を当て、ミャンマーにおける問題を考える上での代替案について議論する。
- 講演の後、質疑応答あり。
- 日英同時通訳あり。
- 世界人権宣言について詳細は<http://www.unic.or.jp/udhr/index.html> を参照。

本シンポジウムはインターネットのウェブキャストでもライブにて閲覧可能(後日閲覧も可)。<http://c3.unu.edu/unuvideo/?218>

本セミナーの取材をご希望される方は、国連大学広報部の谷野(やの)までご連絡ください。  
電話: 03-5467-1311、Eメール: [media@unu.edu](mailto:media@unu.edu)

=====

国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として1975年に設立された、本部(東京)を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。

=====

MEDIA ADVISORY